



モルタル接着増強剤・吸水調整材・合成高分子エマルジョン 塗布・混入兼用型

# ハイモル®エマルジョン

(ペタルス®EV-300)

日本建築仕上学会・  
M-101規格適合品

公共建築協会  
評価名簿登録品

- ・ハイモル®エマルジョンは、モルタル工事に使用するエチレン酢酸ビニル系 (EVA系) のモルタル接着増強剤です。
- ・ハイモル®シリーズや現場調合モルタル等への混入工法においては、下地との接着力及びモルタルの耐摩耗性・耐吸水性・耐衝撃性等を向上させ、高性能なポリマーセメントモルタルが得られます。
- ・また、モルタル塗り付け前の吸水調整材としても、優れた性能を発揮します。

成分	エチレン酢酸ビニル系エマルジョン
密度	1.07g/cm <sup>3</sup>
粘度	1,000±200CPS (30℃)
外観	乳白色液体
固形分	45±1%
P H	4~6



用途	塗布工法	コンクリート・モルタル下地への塗布
	混入工法	ハイモル®・ハイモル®スーパーシリーズの専用混和剤 既調合モルタルへの混入 現場調合モルタルへの混入
包装	18kg丸缶入り／4kgポリ缶入り／1kgポリ缶入り	

### 日本建築仕上材工業会登録

商品名	ハイモル®エマルジョン(ペタルス EV-300)
表示登録番号	0305316
ホルムアルデヒド放散等級区分表示	F☆☆☆☆
製造業者等名称	昭和電工建材株式会社
ロット番号	梱包に表示
問い合わせ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

ISO 9001 認証取得

## 昭和電工建材株式会社



## 塗布工法

ハイモル®エマルジョンの5倍希釈液を下地に塗布することによって、下地への吸水を調整する工法です。塗りつけるモルタルの正常な硬化を助け、下地との接着力を高めます。

施工場所	標準希釈比	標準塗布量 (希釈液の量)	施工面積 (1缶当り)
コンクリート 内外壁 天井 床面	ハイモルエマルジョン 5倍液 1:4 18kg/缶 清水 72ℓ	150 g/m <sup>2</sup>	600 m <sup>2</sup> /缶
ALC板等 吸水の激しい 下地	ハイモルエマルジョン 5倍液 1:4 18kg/缶 清水 72ℓ	2回塗り 300 g/m <sup>2</sup>	300 m <sup>2</sup> /缶

- ・ 施工場所にあわせて上記割合にて希釈してください。
- ・ 下地は乾燥した状態で、刷毛・スプレー・デッキブラシ等にてむらなく塗布してください。
- ・ モルタルの塗りつけは、塗布後下地が乾燥後に行ってください。
- ・ ハイモル®エマルジョン塗布後長時間放置しますと、塵埃等の付着により接着力の低下をまねきますのでご注意ください。

## 混入工法

ハイモル®エマルジョンをモルタルに混入することによって、モルタルの物性を改善する工法です。モルタルの各種物性を高め、作業性の良い樹脂モルタルが得られます。

	標準混入量 (原液の量)	施工面積
既調合モルタル	ハイモルスーパー全種 1袋(25kg) + ハイモルエマルジョン 1.5~2.5kg + 清水 適量	※既調合モルタルのカタログをご参照ください。
現場調合モルタル 1:3モルタル	セメント 1袋(25kg) + 砂 75kg + ハイモルエマルジョン 4~5kg + 清水 8~11ℓ	1:3モルタルとして 約12.5m <sup>2</sup> (5mm厚)
現場調合モルタル 薄塗用モルタル	セメント 1袋(25kg) + 砂 22.5kg + ハイモルエマルジョン 4kg + 清水 6~7.5ℓ	薄塗りモルタルとして 約17m <sup>2</sup> (2mm厚)

試験項目	試験結果	性能基準 品質評価評価事業の 吸水試験材(Bタイプ)	
ディスページョン試験	外観	異常は認められなかった	粗粒子、異物、凝固物などが無いこと
	全固形分	45.5% (表示値45±1%)	表示値±1.0%以内であること
吸水試験	吸水性	0.1g	30分間で1g以下であること
接着強度試験	標準状態	2.57 N/mm <sup>2</sup> B:100%	著しいひび割れおよび剥離がなく接着強度が0.9B N/mm <sup>2</sup> で界面破断が50%以下であること
	熱冷繰返し 抵抗性試験	2.73 N/mm <sup>2</sup> B:100%	
	凍結融解 抵抗性試験	2.75 N/mm <sup>2</sup> B:100%	
	熱アルカリ溶液 抵抗性試験	2.13 N/mm <sup>2</sup> B:100%	

- ・ 試験は、社団法人公共建築協会、建築材料・設備機材等の品質性能評価事業の吸水試験材(Bタイプ)に定められた試験方法に準拠した。

試験項目	試験結果	品質基準 (JIS A 6203:2000) セメント混和用ポリマーディスページョン 及再乳化形粉末樹脂	
ディスページョン試験	外観	粗粒子、異物、凝固物などは認められなかった	粗粒子、異物、凝固物などがあってはならない
	密度	g/cm <sup>3</sup> 1.062 (20.0℃)	—
	pH	5.0 (20.0℃)	—
	粘度	mPa·s 1042 (20.0℃)	—
	不揮発分	% 45.5	35.0以上
ポリマーセメントモルタル試験	フロー値	mm 168	170 ± 5
	曲げ強さ	N/mm <sup>2</sup> 10.8	8.0以上
	圧縮強さ	N/mm <sup>2</sup> 44.4	24.0以上
	接着強さ	N/mm <sup>2</sup> 2.2	1.0以上
	吸収率	% 2.1	10.0以下
	透水量	g 0.6	15以下
	長さ変化率	% 0.045	0~0.150

- ・ 試験は、JIS A 6203:2000「セメント混和用ポリマーディスページョン及び再乳化形粉末樹脂」の試験方法に準拠した。

## 注意事項

### 〈施工上の注意〉

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は施工を中止してください。

### 〈使用上の注意〉

- 取扱いは、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用してください。
- 取扱いは換気の良い場所で行ってください。
- 取扱いはうがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 使用後の器具類は早めに水洗いしてください。

### 〈応急処置〉

- 目に入った場合: 直ちに多量の水で洗浄し、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合: 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら洗浄してください。
- 誤飲した場合: 多量の水または食塩水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

### 〈保管上の注意〉

- 凍結や直射日光を避ける為に必ず室内(5~40℃)に保管してください。
- 開封後の使用残は密封した状態で保管してください。

### 〈運送上の注意〉

- 運搬に際しては、内容物の漏れが無い事を確認し、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。積み降ろしも同様に願います。

### 〈廃棄上の注意〉

- 内容物及び使用済み空容器を廃棄する場合には、都道府県条例に基づき処理するか許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

### 〈漏出時の注意〉

- 流路を毛布・土嚢等を用いてせき止めバキューム等で吸み上げるか、少量の場合はおが屑、ウエス、乾燥砂に吸収させて回収し、焼却してください。

### 〈環境への配慮〉

- 海・河川・湖沼・池・下水道・公共用水域等へ流入すると、広範囲にわたって汚濁汚染することとなるので、絶対に廃棄したり漏らして流入させないでください。
- 万が一流入した場合は地方自治体の担当者に直ちに連絡してください。
- また、地下水を汚染する恐れのある地中には捨てないでください。

このカタログの記載内容は2009年5月現在のものです。製品改良のためにことわりなく仕様変更する場合がありますのでご了承ください。カタログに記載の数値は標準値であり、保証値ではありません。安全上の注意事項の詳細については別途、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

## 昭和電工建材株式会社

■ 本社・建設資材営業部

〒221-0024  
横浜市神奈川区恵比須町2-1  
TEL (045) 444-1691  
FAX (045) 444-1699  
<http://www.sdk.co.jp/kenzai/>

■ 仙台営業所  
■ 名古屋営業所  
■ 大阪営業所  
■ 福岡営業所  
■ 横浜出荷センター  
■ 札幌出荷センター  
■ 東松山出荷センター  
■ 千葉出荷センター

〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代3-2-14  
〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-5-3  
〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-22  
〒221-0863 横浜市神奈川区羽沢町宇天屋83-1  
〒003-0828 札幌市白石区菊水元町8条3-651-12  
〒355-0076 東松山市下唐子1511-1  
〒274-0081 船橋市小野田町857

TEL (022) 236-7108 FAX (022) 283-0694  
TEL (052) 218-8085 FAX (052) 202-1202  
TEL (06) 6100-2202 FAX (06) 6100-1232  
TEL (092) 281-9881 FAX (092) 281-9505  
TEL (045) 370-6830 FAX (045) 370-6832  
TEL (011) 872-2671 FAX (011) 871-0882  
TEL (0493) 27-0111 FAX (0493) 25-1723  
TEL (047) 457-3458 FAX (047) 457-2153

【ISO 9001 品質マネジメントシステム登録事業所】



大豆油使用インキで印刷しています。 09.08.2000E